

にいがたアイサポートセンター

メールにいがた



152号 2021年10月

新潟県視覚障害者福祉協会
新潟県視覚障害者情報センター

～ 今号の内容 ～

1 開館・電話受付時間と10月～12月の休館日 3ページ

- 開館・電話受付時間
- 10月～12月の休館日

2 視覚障害者情報センターから 3ページ

(1) 利用者の皆様へのお知らせ

- 新潟県視覚障害者情報センターの苦情解決体制をご存知ですか？
- 録音図書CDの取扱いに関するお願い
- 当センター主催・点字体験会の参加者を募集中です！
- 当センター主催・第1回ふれ愛朗読会 朗読作品の紹介
- 令和3年度第1回図書選定委員会 選定図書紹介

(2) 情報センターからのお役立ち情報

- サピエ図書館 人気図書ランキング
- 情報センター連載コラム第2回（必要となる機器とネット環境編）

(3) 利用者参加コーナー

- 利用者参加・文芸コーナー
- 生活の知恵シェア掲示板

3 お役立ち情報 19ページ

- 新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ
「ふれあい・いきいきサロン」のご案内
- 第19回新潟県障害者芸術文化祭～ふくらむアート ふあっと にいがたフェスティバル～のご案内

4 功労表彰などの受賞者のご紹介 20ページ

- 公益財団法人鉄道弘済会 「第51回 朗読録音奉仕者感謝行事」
関東甲信越地区表彰

5 視覚障害者関連団体からの情報 21ページ

- 日視連&ネット情報

6 県内主要文化施設が企画・主催する行事 24ページ

- 映画上映会、講座 4施設
- 野外施設、博物館 4施設
- 音楽関連 3施設
- 美術関連 4施設

◆ 編集後記 32ページ

～2020東京オリンピック・パラリンピックを振り返って～

巻末 「日常生活支援機器情報コーナー no.56」

「iPhone用キーボード QwertyCase (クワータィケース)」
掲載ご協力 株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏 様

1 開館・電話受付時間と10月～12月の休館日

●開館・電話受付時間

午前9時～午後5時

●10月～12月の休館日

10月（発行日以後）

10月18日（月）、25日（月）

11月 1日（月）、4日（木）、8日（月）、15日（月）
22日（月）、24日（水）、29日（月）

12月 6日（月）、13日（月）、20日（月）、27日（月）
29日（水）～1月3日（月）

2 視覚障害者情報センターから

（1）利用者の皆様へのお知らせ

●新潟県視覚障害者情報センターの苦情解決体制をご存知ですか？

新潟県視覚障害者福祉協会では、事業利用者からの苦情解決のため、次のような体制を設けています。当センターのサービスに対する改善のお申し出や苦情も遠慮なくご相談ください。

《苦情受付》

職員の苦情受付担当者が面談、電話、書面、当センター入口「意見箱」等で随時受け付けています。受け付けた苦情は、苦情解決責任者と第三者委員へ報告します。第三者委員への報告は、苦情申出人が拒否した場合は行いません。なお、苦情申し出は第三者委員へ直接行うこともできます。

《苦情申出人との話し合い》

苦情解決責任者は苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めます。話し合いの際に、苦情申出人は第三者委員の助言や立会いを求めることができます。

◆苦情受付担当者

関川憲司（新潟県視覚障害者福祉協会事務局長）

狩野みさと（新潟県視覚障害者情報センター次長）

◆苦情解決責任者

桜井美和子（新潟県視覚障害者福祉協会理事）

斎藤義樹（新潟県視覚障害者情報センター長）

◆第三者委員

小柴昭彦 TEL 025-261-0404

小林恒雄 TEL 0256-53-0773

《当事者間で解決ができない場合》

当事者間で解決できない場合は新潟県社会福祉協議会に設置されている

「新潟県福祉サービス運営適正化委員会」に申し出ることができます。

《関係機関の電話番号》

- ・新潟県視覚障害者福祉協会事務局 025-381-8130
- ・新潟県視覚障害者情報センター 025-381-8111
- ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会 025-281-5609

●録音図書CDの取扱いに関するお願い

当センターから郵送貸出している録音図書のCDですが、多くの方に利用いただいているデジター図書や、月刊誌・週刊誌などのデジター雑誌についてはディスク盤面に傷が付いていることがあります。盤面に傷や汚れがついていると再生ができなくなる場合がありますので、取り扱いの際は以下の点にご注意いただきますようご協力をお願いいたします。

なお、特にデジター雑誌については、CD-RWのディスクを繰り返し利用している都合上、このようなケースがしばしば発生し、再送が必要になる場合がございます。以下の流れを試しても再生ができなかった場合は、大変お手数ですが当センターまでご連絡いただきますようお願いいたします。新しいCDをお送りいたします。

1 取り扱いの際の注意点について

CDをプラスチックケースから取り出す際は、データの書かれているディスクの裏面には触れないよう、ディスク外縁部分と中心の穴部分を持って取出すようにしてください。

2 再生ができなかった場合の対処について

CDを入れても音が出ない、エラーメッセージが流れた場合などは一度C

Dを取り出し、ディスクの裏面をメガネ拭きのような柔らかいきれいな布で軽く拭いてみてください。それでも再生できない場合は、盤面の傷が原因と考えられますので、当センターまでご連絡ください。

当センターでも発送前にクリーニングや試聴をおこなっていますが、機器によって再生できるものとできないものがあるなど、完全な管理は難しい状況となっています。ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

●当センター主催・点字体験会の参加者を募集中です！

8月号で参加者募集のお知らせをおこなった、点字体験会について、参加枠にまだ余裕がございますので再度お知らせいたします。

私たちの身の回りにあるエレベーターや階段の手すり、ソースやジャムなどの入れ物などには、点字が付いていることをご存じですか。「点字を読む」と考えると「大変そう…」と思われるかもしれませんが、点字に限らず身の回りのものに自分が触ってわかるような印をつけておいたり、短い点字の単語を覚えるだけでも生活が少し便利になったりします。

今回は点字はもちろん、そういった「触ってわかるようにする」という工夫についても楽しく体験していただける内容になっています。触ってわかるような便利な物に触れてみたり、周囲の点字に触れてみたりと気軽に楽しく体験してみませんか。この機会にぜひ、ご参加ください。

1 日時 11月16日（火）午後1時半から3時半

2 会場 新潟ふれ愛プラザ2階研修室

3 対象：点字触読ができない視覚障害の方、点字に興味・関心がある方

4 定員 6名（先着順）（ガイドヘルパーを除く）

5 参加費 無料

6 申し込み方法・締め切り

10月26日（火）17時までに電話またはメールでお申し込み下さい。

TEL 025-381-8111

メール tosyo@ngt-shikaku.jp

7 備考 当日はウイルス感染対策をしての開催となります。参加の際はマスクの着用、手指のアルコール消毒をお願いいたします

●当センター主催・第1回ふれ愛朗読会 朗読作品の紹介

8月号でお知らせしておりました、10月29日にふれ愛プラザで開催するふれ愛朗読会について、朗読作品が決定しましたのでお知らせいたします。参加を検討しておられる方はまだ参加枠に余裕がございますので、ぜひご検討ください。当日は様々な雰囲気での4作品を協力ボランティアが朗読いたします。

朗読作品1 「月夜とめがね」小川未明著

月のきれいな夜におばあさんの家にやってきた2人の訪問者。やさしくあたたかい小川未明の世界を感じられる一作です。

朗読作品2 「深夜の乗客」百田尚樹著

国民的ベストセラー作家の百田尚樹さんの物語構成の巧さを感じさせる一作。意外な結末はぜひ朗読会でお確かめください。

朗読作品3 「桃子」江國香織著

少し不思議な恋のお話。読み手に語りかけるような文体がユニークです。

朗読作品4 「帰郷」太田忠司著

誰もが抱えている過去の思い出、故郷の景色が浮かび上がってきそうな作品です。

以下、再度朗読会の情報を記載いたします（8月号掲載内容と同文）。

1 日時 10月29日（金）午後1時から3時半（予定）

※交流会の時間を含む

2 会場 新潟ふれ愛プラザ 2階 会議室

3 参加費 無料

4 定員 最大25名まで（先着順）

5 朗読作品 先述の4作品

6 申し込み方法・締め切り

10月22日（金）17時までに電話又はメールで当センターまでお申込みください。またその際に音訳ボランティアとの交流会の参加希望についてもお知らせください。

7 備考

また当日はウイルス感染対策をしておこなわれます。参加の際はマスクの着用、手指のアルコール消毒をお願いいたします。

●令和3年度第1回図書選定委員会 選定図書紹介

今年度の第1回図書選定委員会を開催しました。昨年度に引き続きコロナウイルス感染拡大防止のため、アンケート形式で実施し、委員の方より蔵書や当センターの情報提供方法に関して意見を出していただきました。選定図書は、選定委員の推薦図書、推薦ジャンル、不足していると思われる分野、その他選定委員の方よりいただいたご意見をもとに選定しております。

以下に図書のタイトル、著者、出版社、出版年、内容、製作区分（点訳・音訳・テキストデイジーいずれか）、選定理由の順に記載いたします。

また今回は小説の充実を望むニーズをふまえ、他館で製作された小説で人気のあるものをいくつか自館の蔵書として受け入れいたしました。こちらは新刊案内にてご紹介していますのでそちらでご確認ください。

なお、選定リストに反映されていないものの、意見をいただいたことで、今後当センターで対応を予定している取り組みについても記載します。

以下の選定図書については貸し出し予約が可能ですので、ご希望の方は当センターまでタイトル名をお知らせください。いずれも完成までに半年から1年程度かかる予定です。

（1）選定図書リスト

◆選定委員推薦図書 5タイトル

1 炎は流れる 大宅壮一（おおやそういち）著 文藝春秋 1975年
テキストにて製作（点訳は他館で製作され完成済）

【内容】日本人とは世界でもまれな精神構造をもった特異な民族なのか。近代夜明けの明治期を象徴するふたりの人物に焦点をあて、彼らの行動を支配した思考に迫るほか、日本的特性をさぐる。

【選定理由】著名作家の有名作品。

2 イタリアで見つけた共生社会のヒント フル・インクルーシブ教育に基づく人々の暮らし

2019年度地域コアリーダープログラム・イタリア派遣団 編 あけび書房
2021年 点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】2019年度地域コアリーダープログラム（障害者分野）・イタリア派遣団の体験記。日本とイタリアのインクルーシブ教育の現状、相違点、

強みと弱み、課題や問題点、そして、両国の地域社会や文化・風土への影響をまとめる。

【選定理由】 障害者福祉関連の著書。

3 酒都（しゅと）新潟市 るるぶ 特別編集 2018年

点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】新潟市のホームページで公開されている、るるぶ特別編集版として制作・発行されたリーフレット。酒どころ新潟の知名度を活かし、日本酒を入口とした本市の楽しみ方を市外・県外の方に紹介する。本市で開催される日本酒イベントや市内15酒蔵自慢の名酒、酒にまつわる市内周遊コースなど、酒の都・新潟市の魅力を紹介。旅の参考にも。

【選定理由】 地域の情報。

4 現役世代のためのがん防災マニュアル 保存版

一般社団法人がんとはたらく応援団 編 2020年 音訳にて製作

【内容】がん経験者が苦労したポイントが反映されたリーフレット。早期発見や最善の治療の選択に加え、医療費支援の制度や両立のためのステップなど医療にとどまらないがんと生活・仕事とのかかわりを掲載。忙しい現役世代にも読みやすいよう、必要なポイントに内容を絞って紹介する。

【選定理由】 医療・病気に関する情報提供。

5 魂の発電所 負けねど福島 オしたちの再エネ十年物語

池尾伸一（いけおしんいち）著 徳間書店 2021年

点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】「2050年温暖化ガスゼロ」は小さな発電所から実現する！原発事故に奪われたふるさとを取り戻すために、電力の素人たちが立ち上がり…。彼らが歩んだ苦闘と希望の日々に密着した群像ノンフィクション。

【選定理由】 県民の関心が高い原発関連の情報。

◆選定委員の製作要望をもとに選定した図書 12タイトル

6 栃尾郷（とちおごう）の虹

玄間太郎（げんまたろう）著 本の泉社 2021年

音訳・テキストにて製作（点訳は他館で着手あり）

【内容】凶作や飢饉が続く江戸天明期の越後・栃尾郷。疲弊した村々を救うべく、百姓の妻・大崎オヨは苦難の末に栃尾縞紬を創製した。心ある庄屋は、諸国にその販路を広げるために尽力し…。無名の傑出した民百姓を描いた時代歴史小説。

【選定理由】新潟県出身著者の小説。

7 大切な君が消えた世界でも、光は降りそそぐ
砂川雨路（すながわあめみち）著 スターツ出版 2020年
点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】高3の真香（まなか）にとって、5つ年上で警察官の従兄・迅は、憧れであり初恋の相手。しかし、迅は災害に巻き込まれて亡くなってしまふ。絶望した真香の前に現れ、再び希望をもたらしたのは、死んだはずの迅だった…。

【備考】新潟県出身著者の小説。

8 きぼうしゅうらく 移住女子の里山ぐらし
佐藤可奈子 著 新潟日報事業社 2020年
点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】大学卒業後、十日町市池谷集落へ単身移住した著者。一から農業を学び、結婚、そして子育てをする中で彼女が出会った人や言葉とは。悩みながらも、挑戦し続けた里山暮らしの5年間をまとめたエッセー集。

【備考】新潟県出身著者のエッセイ。

9 新潟県の民話 木のまた手紙ほか
日本児童文学者協会 編 偕成社 2004年
点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】新潟県内の民話を複数収録。

【選定理由】新潟の民話・歴史・風土に関する図書。

10 海が蒼く盛り上がるころ
桑原敏朝（くわばらとしとも）著 新潟日報事業社 2021年
テキストにて製作

【内容】新潟市西区五十嵐にはなぜ古俣と若杉が多いのか。越後をはじめ、信濃、越前、加賀、能登、越中などの中世史を手掛かりに、古俣姓・若杉姓の系譜を探る。

【選定理由】新潟の民話・歴史・風土に関する図書。

1 1 新潟県県民性の民俗史 県民性の再生産 ことわざ・暮らし・雪の系譜
伊藤充（いとうみつる）著 新潟日報事業社 2020年
テキストにて製作

【内容】新潟県の県民性は、子どもたちの中に再生産され続けていた。新潟県の社会伝承、生活伝承、文化伝承、雪伝承など民俗伝承が、どのように新潟県の県民性再生産に作用したのかを歴史的に明らかにする。

【選定理由】新潟の民話・歴史・風土に関する図書。

1 2 みなとまち新潟の社会史
諫山正（いさやまただし）監修 新潟日報事業社 2018年
点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】港湾発展の視点から新潟市の歩みをとらえ、政治や経済、都市機能・景観、風俗、大衆文化までも含めた地域史としてまとめる。足で歩き目で見て、ふるさと新潟を楽しく考える1冊。

【選定理由】新潟の民話・歴史・風土に関する図書。

1 3 「かっこいい」の鍛え方 女子プロレスラー里村の報われない22年の日々
里村明衣子（さとむらめいこ）著 インプレス 2017年
点訳・音訳にて製作

【内容】「かっこいい」ははじめから備わっているものではなく、鍛えて身につくもの。15歳からプロレス一筋、センダイガールズプロレスリング社長であり、現役の選手である著者が、自身の生きざまを描く。

【選定理由】新潟県出身のスポーツ選手の著書。

1 4 ライフデザインカ 未来を切り開く力の育み方
池田弘（いけだひろむ）著 東京書籍 2019年
点訳・音訳にて製作

【内容】著者は新潟県出身の実業家（NSGグループ代表）。ベースとなる価値観や哲学＝「志」を自らつくり上げながら、未来を設計・構想し実現していく力、「ライフデザイン力」をいかにして育むか。事業の中で培ってきた成果を紹介する。

【選定理由】新潟県出身の実業家の著書。

15 クルドの夢ペルーの家 日本に暮らす難民・移民と入管制度
乾英理子（いぬいえりこ）編著 論創社 2021年

点訳・音訳にて製作

【内容】国を追われながらも難民として認定されず、「仮放免」の身分で滞在するクルド人家族と、団地に暮らし日本での居場所を探す日系ペルー人家族。2つの家族を通して、日本の移民・難民の現実を記す。NHKのETV特集を書籍化。

【選定理由】ノンフィクション・ルポルタージュの製作要望から。

16 元（げん）さんの新潟日報裁判闘争 新聞社内から報道批判
片桐元（かたぎりげん）著 新潟日報事業社 2021年

点訳・音訳にて製作

【内容】新聞報道の社会的責任とは？人間の普遍的な権利とは？「狭山事件」を契機に、社内から報道機関の在り方を追求し続けた記者による激動のノンフィクション。

【選定理由】ノンフィクション・ルポルタージュの製作要望から。

17 乱歩賞特集

講談社 編 講談社 2019年

点訳・音訳・テキストにて製作

【内容】ミステリー界の登竜門「江戸川乱歩賞」のすべてを網羅した一冊。第65回江戸川乱歩賞を発表するほか、歴代受賞者たちの最新小説、エッセイ、対談などを収録。グラビア「辻村深月とゆく江戸川乱歩邸への招待状」も掲載。

【選定理由】小説のジャンルとして「推理小説」のニーズが高かったことを受けて製作。推理小説は個人によって好みが分かれるため、図書のガイドとなるような資料を選定。

(2) その他補足事項

- ・その他にも小説の蔵書の充実の要望が多かったため、他館で製作された本屋大賞受賞作で、自館で所蔵していなかった小説のデイジー図書および点字図書の受け入れを実施しました。受け入れをおこなった図書については152号の新刊案内の中で紹介していますので、そちらをご確認ください。
- ・その他選定図書に反映されていないが今後取り組みを予定している内容として、今後発表される文学賞受賞作や、本屋大賞受賞作の積極的な受け入れを施設としておこなっていく方針としました。また「視覚障害者が日常生活を送る際のマナーや知恵について知りたい」という要望に対して、メールにいがた本編にて「生活の知恵シェア掲示板」というコーナーを設けることで、情報提供をおこなっていく方針としました（世間で出版されている本ではそのような情報が入手しづらいため、利用者から募る形で実施）。

(2) 情報センターからのお役立ち情報

●サピエ図書館 人気図書ランキング

サピエ図書館において、8月～9月に利用（ダウンロード・再生）の多かった全国の人気図書をご紹介します。書名、著者名、巻数（点字図書のみ）、収録時間（デイジー図書のみ）、所蔵館の順に記載しています。詳しい内容等が知りたい方は当センター職員までお気軽にお問合せください。

点字図書

- 1位「見えなくても使えるiPhone VoiceOverでの操作解説（iOS 14.7編）」品川博之著 4巻 鹿児島視情セ
- 2位「スマホの「わからない!」をスッキリ解決する本 基本操作からLINE、キャッシュレス決済まで完全解説!」宝島社編 3冊 大分点訳
- 3位「悪女列車」安達瑤（よう）著 4冊 千葉点図
- 4位「落葉の記」勝目梓（かつめあずさ）著 8冊 上田点図
- 5位「クックパッドなのに「キッチンいらず」のレシピ 混ぜるだけ!? のせるだけ!? チンするだけ!?!」クックパッド株式会社 監修 1巻 青森視情セ

録音図書

- 1位「白鳥とコウモリ」東野圭吾 著 19時間34分 福井視情セ

2位「月下のサクラ」 柚月裕子（ゆずきゆうこ）著 10時間47分
西宮視障

3位「となりの訳あり妻」 草凧優（ゆう）著 6時間22分 旭川点図

4位「「女性向け風俗」の現場 彼女たちは何を求めているのか？」
榎木寛（まさきひろし）著 6時間17分 熊本点図

5位「医師が教える新型コロナワクチンの正体」
内海聡（うつみさとる）著 5時間34分 日点図

テキストデイジー

1位「官能文学館 痴乱 図絵版」 青木信光 編 鹿児島視情セ

2位「臥龍（がりゅう）（横浜みなとみらい署暴対係）」 今野敏 著
島根西視情セ

3位「全盲ハッピーマン 24歳で失明したら人生がもっと面白くなったん
だけど、なんか質問ある？」 大平啓朗（おおひらひろあき）著
鹿児島視情セ

4位「Siriに頼めること iPhoneを使って（Appleホームページからの抜粋）」 Apple 編 鹿児島視情セ

5位「見えない地球の暮らし方 見えない・見えにくい人のリアルな日常レ
ポート集」 メルマガ色鉛筆チーム 編著 京ラ情ス

●情報センター連載コラム 第2回（必要となる機器とネット環境編）

前回から始まったサピエ図書館の活用コラム。第2回目の今回はサピエ図書館を利用するために必要なものについてお伝えしていきます。

前回のコラムを読んでみて興味はあるけど利用するのは何となく難しそう…とお考えのかたもいらっしゃるかもしれませんが。でも心配はいりません！必要なものは3つ。サピエにつなげるための機器、インターネット環境、サピエ図書館の会員登録、これだけです。それではそれぞれについて詳しく説明していきます。

必要なもの1つ目 サピエに接続できる機器

サピエに接続できるプレクストークはPTR3とリンクポケットの2つです。他にもパソコンやスマホでもできるのですが、今回のコラムではPTR3とリンクポケットに限ってお伝えしていきます。どちらも持っていないと

いかたは今後買い替えを検討される際、サピエの利用を見据えていずれかの機種を購入を検討していただくと良いかもしれません。

必要なもの2つ目 インターネット環境

サピエはインターネット上にある図書館のため、インターネットにつながることが必要となります。自宅ですでにインターネットを使用しているかたはそのまま利用することができます。PTR3はLANケーブルを用いた有線接続とw i f iでの無線接続が利用でき、リンクポケットはw i f iでの無線接続のみを利用することができます。

必要なもの3つ目 サピエ図書館の会員登録

サピエを利用するためには会員登録を行いIDとパスワードの発行が必要となります。IDという身分証明書とパスワードというカギでサピエ図書館に入ることができる、というイメージです。IDとパスワードは情報センターでお申し込みをしていただければ簡単に取得ができ、後日サピエの事務局からご本人に直接送られます。

サピエ機器に接続できる機器、インターネット環境、サピエ図書館の会員登録の3つの準備が終わったらいよいよサピエを利用することができます。自分の好きな図書や雑誌、雑誌の定期配信などを楽しみましょう…といきたいところですが、機器の操作が心配というかたもいらっしゃるかもしれませんね。次回の最終号では機器の基本的な操作方法をお伝えしていきます。

(3) 利用者参加コーナー

●利用者参加・文芸コーナー

このコーナーでは当センターの利用者の方に投稿いただいた俳句、短歌、川柳をご紹介します。なお、掲載の順番は受付順といたします。

【短 歌】

ボーダーのシャツひらりひらりと風に揺れ夏の終わりを我に告げてる
亡き母が好みしスイカ我一人涙と共にしょっぱく味わう

坂上香代子

白山の祭りなつかしいか焼きを我が家でためす今日はいか焼き
節水で溜めたくりやの洗い水吸って青じそしその塩漬け
いつの間に年寄り暮らし身について食べては寝てるラジオ聞き聞き
でんでん虫

初物の弥彦娘を霊前に供えプシュッと一人の乾杯
バランスをとりつつ上る坂の道汗がぽったり手首に落つる
上林洋子

【川 柳】

打ち明ける雰囲気にする聞き上手
平凡な幸せ飽きぬ味がある
切り返す言葉を磨く負け嫌い
渡辺幸栄

昭和歌謡聴けば卒寿もうたいだす
好きなのに手も握れないコロナ禍世
涼風へマスクもすこし軽くなる
本間光子

親心知れば外せぬ人の道
微笑めば孫は天使さ我が宝
障害に一人じゃないと支援の輪
流れ星

投稿いただきました6名の皆様ありがとうございました。

文芸作品募集要領

- 1 募集 俳句、短歌、川柳の3部門のうちいずれかひとつ
- 2 募集作品 毎回お一人各3句、3首以内、自作、未発表の作品。
誤字、誤読等を防ぐため漢字や語句にはふりがなをつけてください。

3 応募締切・掲載 偶数月月末（今回は10月31日）までに当センター必着。翌偶数月号（今回は12月号）のメールにいがた文芸コーナーに掲載

4 その他（表彰の実施）

4、6、8、10、12、2月号に掲載した作品について、にいがたアイサポートセンター内で審査を行い理事長賞、情報センター長賞等を設け、翌年度の4月号で発表いたします。

●生活の知恵シェア揭示版

視覚障害がある方の生活の工夫や気をつけていることなどを募集し紹介するコーナーです。先月号で募集したテーマについて、応募のあった内容をご紹介します。今回のテーマは「料理の時にあると便利なグッズや、私のちょっとした工夫」です。

1 カレーやシチューの箱を区別するための工夫

カレーやシチューの箱は形が同じでパッケージが見えないと区別がつかない。そのため買って来た段階でカレーの箱には輪ゴムをかけるとか、シチューの箱は外箱を開封しておく等、触ってカレーの箱かシチューの箱かがわかるようにしています。

（投稿者：たまごやきさんより）

2 キッチン用タオルとそれ以外のタオルを区別するための工夫

洗濯の際に洗面用タオルとキッチン用タオルを一緒に洗ったりするが、タオルの用途はわけて使いたいので区別できるようにしておきたい。そのためタオルを購入する際、四隅に刺繍があるもの、縁取りが厚くなっているものなど、触って区別ができることを意識して購入しています。その他にも布地についたタグを切り落としたり、タグに切り込みを入れる数を変えたりすることで誰のタオルか、どこで使うタオルかがわかるようにしています。

（投稿者：たまごやきさんより）

3 便利な電子レンジ調理をフル活用

最近は火を使わず材料と調味料を入れるだけで作れる電子レンジレシピが多くあるのでフル活用しています。たとえば少量の親子丼や卵焼きなども電子レ

レンジだけで作ってしまいます。

（投稿者：かまどさんより）

情報センター追記：電子レンジ活用レシピのデイジー図書や点字図書も製作・貸し出しがされています。ご希望の方は情報センターまで。

4 そうめんをふきこぼさずにゆでる方法

そうめんをゆでるときは鍋に水を入れて沸騰させた後、そうめんを入れてふたをして火を止め、ゆで時間分放置する。そうめんは加熱したままゆでるとすぐにふきこぼれるが、この方法ならその心配はなくなります。

（投稿者：Sさんより）

5 便利グッズでお米をとぎやすく

お米をとぐときに日視連の用具購買部で売っている「浮かせネット」が便利。ネットのような形状で中にお米を入れて洗い、そのままネットをひっくり返して炊飯器に入れることができるので、お米をこぼさずに洗ってセットできます。

（投稿者：Sさんより）

情報センター追記：製品サイズは枠の直径 16cm、ネットの深さ 29cm。乾きやすい素材で繰り返し使用可。価格は税込み 1,000 円。野菜の水切り、塩もみなどにも使用できます。

6 お醤油は詰め替え不要の密閉容器のものを購入

最近は鮮度を保つためにプッシュ式の密閉容器に入ったお醤油が売られています。これを買うと容器の詰め替えもいらず、量の調節がしやすく、容器が倒れてもこぼれずに重宝しています。

（投稿者：Sさんより）

なお、今回のテーマに関連して以下のお悩みが利用者の方から寄せられました。良い方法やおすすめの工夫をされている方がおられましたら、次号にてご紹介させていただきますので、ぜひ知恵をお寄せください。

<食材の区別に関するお悩み（全盲の方から）>

冷凍食品の区別がしづらくて困っている。凍っていない状態だと触って判別がしやすいが、凍っていると触ってもよくわからない。以前は音声タグも使っていたがそれを作るのが難しい時もあるし、目印に輪ゴムを使っても劣化して

しまう。さらに小分けの容器がいくつか残っている場合はまだ良いが、最後の1個だと見過ごしてしまう場合もある。皆さんはどのように工夫しているか知りたい。

その他、テーマ外の生活の知恵として以下のご意見をいただきました。

＜メールにいがたの点字版利用方法について＞

メールにいがた本編を読む時にはホチキスを外してリングに止めてから読みます。そうすると読みやすくなって良いです。

今回のご紹介は以上です。引き続き次号12月号でも別のテーマを設定して皆さんから集まったご意見を掲載します。ぜひ皆様の生活ノウハウやコツを他の利用者の方と共有して、お互いの生活を少し便利に、ラクにしてみませんか？たくさんの方の工夫や体験談をお待ちしております。

＜募集要項＞

(1) 12月号掲載の募集テーマ

「身だしなみやファッションで気をつけていること・私の中でのコツ」

(2) 応募締切：11月12日（金）17時まで

(3) 応募時に必要な情報

- ・テーマに関する内容やその理由（最大120字程度で）
- ・記事掲載用のお名前（本名でもニックネームでも可）
- ・投稿者のお名前（後日内容について確認を取る場合があるため連絡用として）

(4) 注意事項

・送っていただいた内容が他の方と重複した場合や、文章が長くなる場合は、紙面の都合上こちらで内容をまとめたり、要約して掲載させていただく場合がございます。

(5) 応募方法

- ・メールあるいは電話で受け付けます。文章に自信がない方でもこちらでお話を聞かせていただいた上で、掲載用にまとめることも可能です。
- ・掲載する情報は特定の商品や企業・団体等の営業や販売促進目的におこなうものではありません。
- ・ご不明点はお気軽に職員までお問合せください。

3 お役立ち情報

このコーナーでは、視覚障害に関する様々な行事や日常生活に役立つ情報を掲載しています。次号153号(12月発行)に掲載したい情報は、11月3日(水)までに当センターへご連絡ください。

●新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ

新潟県視覚障害者福祉協会が実施する主な行事等をお知らせします。

お問合せなどは視覚障害者福祉協会事務局へ。

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内

電話025-381-8130 FAX025-381-8120

Eメール ngt.shikaku@cello.ocn.ne.jp

「ふれあい・いきいきサロン」のご案内

毎月第1と第3木曜日に新潟ふれ愛プラザで開設しているふれあい・いきいきサロン。11月～12月の開設日をお知らせします。

自分の生い立ちの話や地域の話、自分の見え方の悩みなどなんでも皆さんでお話してください。皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

※事前の申し込みは不要ですが、新型コロナウイルスの感染状況により、安全のため中止する場合があります。

日時 11月18日(木)

12月 2日(木)、16日(木)

何れの日も午後1時30分から3時30分

場所 新潟ふれ愛プラザ 2階 研修室等

●第19回新潟県障害者芸術文化祭～ふくらむアート ふあっと にいがたフェスティバル～のご案内

今年で19回目を迎える新潟県障害者芸術文化祭は、県内に在住している障害者の皆さんが日頃から取り組んでいる芸術文化活動の発表の場として開催されています。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大予防対策に取り組みながら、「新潟ユニゾンプラザ」でステージ発表と美術展の同時開催をすることに決定しました。

美術展では、絵画・書道・写真・工芸の作品展示や短歌・俳句・川柳・自由

詩の文芸作品を冊子にした文芸作品集が配布されます。また、ステージ発表では、歌唱・器楽演奏・踊り等の音楽発表が行われ、毎年、個性豊かな作品や心温まる発表が数多く寄せられます。

来場の際はマスクの着用など、感染症予防にご協力ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

(※新型コロナウイルス感染症流行の状況により、やむを得ず変更または中止となる場合があります。)

○美術展

期日 11月16日(火)～11月21日(日)

時間 午前10時～午後5時 ※ 初日は午後1時から

○ステージ発表・表彰式

期日 11月21日(日)

時間 午後1時30分～4時(予定)

※会場はいずれも 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ

【問合せ】

新潟県障害者社会参加推進センター

新潟市江南区亀田向陽1-9-1

新潟ふれ愛プラザ内

TEL/FAX 025-383-3654

4 功労表彰などの受賞者のご紹介

●公益財団法人鉄道弘済会 「第51回 朗読録音奉仕者感謝行事」

関東甲信越地区表彰

- ・校正奉仕者 齋藤正子(新潟市西区)
- ・朗読録音奉仕奨励賞 今井智子(三条市)
- 小林景子(長岡市)
- 塚田和子(長岡市)
- 野村裕美(新潟市東区)
- 水落百合子(十日町市)

5 視覚障害者関連団体からの情報

日視連（社会福祉法人日本視覚障害者団体連合）、全視情協（特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会）などの情報を掲載いたします。

●日視連&ネット情報

（１）ホーム転落防止にAI 国交省 視覚障害者 カメラで検知

（2021年7月13日 読売新聞 東京夕刊）

国土交通省は、駅のホームからの視覚障害者の転落事故防止策として、人工知能（AI）などの新技術を活用することを盛り込んだ中間報告をまとめた。

転落防止に有効なホームドアは設置に時間や費用がかかるため、設置までの対策を視覚障害者団体や鉄道事業者らと議論していた。

報告書では、AI活用策として、カメラ映像で白杖（はくじょう）を持った人を検知し、改札を通過した際やホームの端へ近づいた時に、駅係員に知らせるシステムを挙げた。視覚障害者がスマートフォンで駅側に介助要請できるアプリの導入も盛り込んだ。いずれも鉄道事業者が実証実験を進めており、精度向上や事業者間の情報共有を課題とした。

ソフト対策では、事業者が視覚障害者団体などと合同で、駅での歩行訓練を実施する必要性にも触れた。

視覚障害者へのアンケート結果もまとめられており、回答した303人のうち109人が転落経験が「ある」とした。ホームの端に向かって歩く場合ではなく、線路沿いに歩行している際に、ホームの端に気付かずに転落するケースが多かった。

「ホーム転落をなくす会」の高山久美子代表は「点字ブロックをホーム中央に置くなど既存設備を見直すだけでも効果がある。国や事業者は積極的に取り入れてほしい」と話した。

（２）全盲弁護士の大胡田（おおごだ）さん 古河二中教育講演会 支え励みに夢実現

（2021年7月22日 茨城新聞 朝刊）

国内3人目の全盲の弁護士、大胡田誠さん（44歳）東京都在住を招いたキャリア教育講演会が16日、茨城県古河市鴻巣の市立古河第二中学校（栃木円校長）であった。失明に伴う困難に何度もぶつかりながら、両親の言葉や周囲の支えを励みに弁護士の夢を実現。「もう駄目だと思うときに、夢や目

標はすぐ近くにある。そこで自分を奮い立たせてほしい」と、3年生192人に呼び掛けた。

大胡田さんは先天性緑内障で小学6年時に失明。中学2年で、日本で初めて点字で司法試験に合格した竹下義樹さんの著書「ぶつかって、ぶつかって。」に出合って弁護士を目指した。2006年、司法試験に合格。19年に法律事務所を開業し、民事や家事を専門に活動している。

講演では失明前後の不安や、中学進学時に盲学校へ入学することへの複雑な心境を吐露。弁護士を目指すも、大学受験の点字の参考書がなかったり、受験自体を断られたりしたことを紹介した。

一方、大学の講義で「点字を打つ音がうるさい」との苦情から端の席に座るよう指示した教授に、周囲の学生が反対してくれた出来事を披露。司法試験で4度目の不合格の際には、母の「迷ったときには、自分の心が温かいと感じる方を選びなさい」との言葉で、夢を再び追うことができたと振り返った。

また富士山登頂時、父から「最初は山頂が見えるが、途中で見えなくなり不安になる。だけど、山頂が近すぎて見えないだけ。だからもう一度、頑張ってみよう」と励まされたことを紹介。「諦めかけた瞬間、もう一步踏み出せばゴールにたどり着ける」と述べた。

(3) 手探りの中光は差した 目の不自由な人たち作詞作曲 新潟市

(2021年8月5日 新潟日報)

共生社会の実現を目指そうと、視覚障害者らが作詞作曲した合唱動画「ララ 一緒に歩こう～光をもとめて～」を、新潟市が制作した。新潟市内の学生や店員ら16団体127人で歌い、市の公式YouTube「新潟シティチャンネル」で公開している。

動画は、市が障害などへの理解を深めようと取り組む「ともにプロジェクト」の一環。新潟市西区のNPO法人「障害者自立支援センターオアシス」を利用する視覚障害者と、東京都で歌を創作する「即興からめーる団」が、オンラインなどを活用しながら約1年かけて共同で作詞作曲した。歌詞の「一人じゃないよ」「笑顔の輪がつながっていく」には、「障害の有無にかかわらず、みんなでつながっていきたい」との思いを込めたという。

動画で趣味のハーモニカ演奏も披露した、オアシスの利用者の大橋鞞彦（ゆきひこ）さん（76歳）（同市西蒲区）「参加できたことがとてもうれしい。たくさんの人に聞いてもらいたい」と笑顔を見せた。

(4) 障害者のスポーツ参加進まず コロナ禍で施設利用制限

(2021年8月30日 産経新聞 大阪夕刊)

東京パラリンピックの開催でパラアスリートに脚光が当たる一方、障害者全体ではスポーツ参加が十分に進んでいない。スポーツ庁の令和2年度調査では、成人障害者の運動実施率は健常者の半分以下。新型コロナウイルスの感染対策で施設利用が制限され、身体機能が低下した人もおり、「障害者が気軽に運動できる環境を整備し、大会のレガシー（遺産）に」との声が上がっている。「うまいな、いい球だね」。埼玉県総合リハビリテーションセンター（上尾市）の健康増進施設で、車いすの男性2人が声を掛け合って卓球をしていた。障害者の体力づくりが目的の施設で、体育指導員の助言を受け約100人がさまざまな運動に励む。週1回さいたま市から通う谷内勝さん（51歳）は「体を動かすのが好き。ここなら専門家のアドバイスの下、トレーニングできる」と笑顔を見せた。

センターの健康増進担当部長、塚越和巳さん（56歳）によると、コロナ禍以前は1人当たり週5回利用できたが、密集を避けるため現在は週2回に制限。体を動かす回数が減ったことで、歩くスピードが遅くなったり、太ってしまったり。「せっかくトレーニングを積んできたのに大きな損失だ。特に高齢者は、寝たきりにつながりかねない」と気をもむ。

スポーツ庁の調査によると、週1回以上の運動実施率は成人健常者が59.9%。一方、成人障害者は24.9%で国が掲げる目標の40%程度には遠く及ばない。同庁はコロナ禍により外出のリスクを考え、運動を控えた可能性を指摘する。

笹川スポーツ財団の平成30年度調査では、障害者が専用または優先的に使える施設は全国で141。同財団の小淵和也政策ディレクターによると、28年4月に障害者差別解消法が施行され、利用できる公共スポーツ施設は増えているが、受け入れ状況に温度差があるのが実情という。

バリアフリー設備の未整備や専門指導者がいないといった理由で受け入れに消極的な施設もあり、「利用を希望する障害者にこういったサポートが必要かを聞き取るなどし、できるところから変えるべきだ」と指摘する。

設備の整う特別支援学校を、障害者スポーツの拠点とすることも提案。専門の指導者が常駐し、卒業生や地域の障害者たちが集う場となれば「環境整備に向けた解決策の一つになる」と話した。

6 県内主要文化施設が企画・主催する行事

行事については新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止または延期となる可能性があります。ご利用に当たっては直接施設に電話等でご照会下さい。

映画上映会、講座

(1) 新潟県立生涯学習推進センター（新潟市中央区女池南3-1-2）

お問合せ 電話025-284-6110

催事名1 11月上映会

ドンマイ 【1990年／16ミリ映画／110分】

東京下町を舞台に、弱体少年野球チーム「ちどりボーイズ」を巡り、野球を通してくりひろげられる笑いと涙の人間ドラマ。

出演 桃井かおり 永島敏行 池上竜馬 樹木希林 乙羽信子 ハナ肇

日時 11月4日（木）、11日（木）、21日（日）

催事名2 12月上映会

ローマの休日 【1953年／アメリカ／118分】（日本語吹替・日本語字幕作品）

オードリー・ヘップバーンの初主演作品。王女と新聞記者との切ない1日の恋を描く。

出演 グレゴリー・ペック オードリー・ヘップバーン エディ・アルバート

日時 12月9日（木）、16日（木）、26日（日）

いずれも、開場時間は午後1時、上映開始時間は午後1時30分です。

会場 ホール（県立図書館複合施設）

申込 事前予約が必要ですので、県立生涯学習推進センターに電話でご連絡ください。

(2) 新潟県立文書館（新潟市中央区女池南3-1-2）

お問合せ 電話025-284-6011

10月～12月開催の文化催事情報はありません。

(3) 新潟県立図書館（新潟市中央区女池南3-1-2）

お問合せ 電話025-284-6001

10月～12月開催の文化催事情報はありません。

(4) 長岡市立中央図書館（長岡市学校町1丁目2番2号）

お問合せ 電話0258-32-0658

催事名 映画会

日時 11月23日（火・祝）午後2時～3時45分

作品名 「思い出のトランプ」1984年 日本

日時 12月11日（土）午後2時～3時50分

作品名 「疎開した40万冊の図書」2013年 日本

いずれも、開場時間は午後1時30分です。

会場 中央図書館2階講堂

定員 先着87人

料金 無料

野外施設、博物館

(5) 国営越後丘陵公園（長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1）

お問合せ 電話0258-47-8001

催事名「収穫祭」

里山での秋の実りを祝い、わら細工づくりやセグウェイ体験、精米体験などを開催。

期間 10月30日（土）～10月31日（日）

会場 国営越後丘陵公園 古民家周辺

(6) 新潟県立植物園（新潟市秋葉区金津186番地）

お問合せ 電話0250-24-6465

催事名 企画展示「人と植物のかかわりチョコレート」

普段、多くの方が口にしている「チョコレート」の原材料となるカカオについて、植物学的な解説や歴史、生産・製法などについて紹介します。

期間 11月23日（火・祝）まで

会場 観賞温室第2室

(7) 新潟県立歴史博物館 (長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2)

お問合せ 電話0258-47-6130

催事名 新潟県立歴史博物館 友の会共催展 第18回マイ・コレクション・ワールド / Kids 考古学新聞コンクール全国巡回展

新潟県立歴史博物館友の会では、広く一般のコレクターが収集したコレクションの展覧会(マイ・コレクション・ワールド)を毎年実施しています。平成16年に始まって、今回が18回目となります。昨年は11ジャンルのコレクションが出品されました。多様なコレクションの内容はもちろん、コレクターの多様な人生にまで触れることのできる展覧会です。

また、Kids 考古学新聞コンクール全国巡回展も同時に開催します。

期間 11月23日(火・祝)~12月26日(日)

会場 企画展示室

(8) 新潟市歴史博物館 みなとぴあ (新潟市中央区柳島町2-10)

お問合せ 電話025-225-6111

催事名1 第18回むかしのくらし展「新潟のくらしと年中行事」

正月、節分、雛祭り、お盆などくりかえし行われる「年中行事」を通して、新潟の1年のくらしを紹介し、行事に込められた意味を考えます。

期間 11月14日(日)まで

会場 本館1階 企画展示室

催事名2 収蔵品展・新収蔵品展

収蔵品展では、館の収蔵資料の中から選び出した資料を紹介します。

新収蔵品展では、今年度新たに収集した資料を紹介します。

期間 11月27日(土)~1月30日(日)まで

会場 本館1階 企画展示室

音楽関連

(9) 新潟市民芸術文化会館 りゅーとぴあ(新潟市中央区一番堀通町3-2)

お問合せ 電話 025-224-5521 (チケット専用ダイヤル)

※各公演会場の開場時間は、公演開始時間の概ね30分前です。

催事名 東京交響楽団 第123回新潟定期演奏会

日時 11月7日(日)午後5時~

会場 コンサートホール

出演 クシシュトフ・ウルバンスキ（指揮）、児玉麻里（ピアノ）、東京交響
楽団

曲目 モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 op.19

ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 op.98

定員 2,000人（コロナ対策で定員の1/2）

鑑賞料 S席7,500円 A席6,000円 B席4,500円

C席3,000円 D席2,000円

（10）長岡リリックホール（長岡市千秋3丁目1356番地6）

お問合せ 電話0258-29-7715

催事名 うたたねクラシック

日時 11月6日（土）午後2時～

会場 長岡リリックホール・コンサートホール

出演 ふかわりょう、遠藤真理、林美智子、川久保賜紀（かわくぼたまき）、
三船優子（みふね ゆうこ）

曲目 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番より「プレリュード」

エルガー：愛の挨拶 ほか

定員 700人

鑑賞料 全席自由 4,000円

（11）見附市文化ホール アルカディア（見附市昭和町2丁目1番1号）

お問合せ 電話0258-63-5321

催事名 アルカディアジャズフェスティバル～JAZZ IN THE HOUSE～

世界的なジャズピアノニスト椎名豊率いるクインテットの他、県内屈指の
ミュージシャンと見附のビッグバンド、ジャズ@アルカディアオーケストラ
の競演。

日時 11月7日（日）午後1時～

会場 見附市文化ホール・大ホール

出演 椎名豊クインテット、長沢好宏カルテット

吉田睦（よしだむつみ）with Sekt

ジャズ@アルカディアオーケストラ

鑑賞料 全席自由 一般前売1,500円

※当日券は各300円増し

美術関連

(12) 新潟県立万代島美術館（新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル5階）

お問合せ 電話025-290-6655

催事名 企画展「コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵
画」

昭和の「キャバレー王」として知られた福富太郎氏（1931-2018）は、事業の成功のかたわら美術品を長年蒐集し「福富太郎コレクション」を築きました。本展覧会では、その傑出した人物像にも焦点をあてながら、蒐集のきっかけとなった鏑木清方を代表とする美人画や黎明期の洋画など、福富氏がこよなく愛した絵画とその魅力をコレクターの審美眼をとおしてご紹介します。

期間 11月7日（日）まで

会場 美術館展示室

(13) 新潟市美術館（新潟市中央区西大畑町5191-9）

お問合せ 電話025-223-1622

催事名1 企画展「生誕110年 香月泰男（かづきやすお）展」

太平洋戦争と抑留の体験を描いた「シベリア・シリーズ」で知られる画家・香月泰男（1911-74）の新潟初の大規模回顧展。ゴッホや梅原龍三郎に傾倒した初期作品。過酷な記憶の結晶であるとともに、造形的実験の場でもあった「シリーズ」全57点。温かな眼差しで家族との日常を描いた油彩画、素描など約150点で創作の全容を紹介します。

期間 11月27日（土）～1月23日（日）

会場 企画展示室

催事名2 常設展「コレクション展Ⅱ 美術館で、山歩き」

新潟県は、親しみやすい低山から峻巖（しゅんげん）たる連峰まで多くの山に囲まれています。本展では、実在する山から空想の山河など、山の持つ様々な側面を捉えた作品を展示します。ゆったりと、美術館で山歩きの気分を楽しんで見ませんか。

期間 1月23日（日）まで

会場 常設展示室

(14) 新潟市新津美術館 (新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1)

お問合せ 電話0250-25-1300

催事名1 企画展 富野由悠季 (とみのよしゆき) の世界

虫プロダクションに入社し、その後『海のトリトン』初監督などを経て、社会現象にもなった『機動戦士ガンダム』(1979年)を世に送り出した富野由悠季(本名・喜幸、1941年～)は、最新作『Gのレコンギスタ』(2014年～)に至るまで、数々の話題作を生み出して来ました。

本展では、富野ワールドの原点となった幼少期から学生時代の貴重な作品と資料の展示に始まり、直筆のアイディアスケッチや絵コンテなどを、監督と仕事を共にした多くのクリエイターたちのメカやキャラクターの設定資料などとともにご紹介します。また、自らの作品世界を掘り下げた小説、主題歌などの作詞、さまざまな分野の人々との対話など、マルチな活動と才能にも焦点を当てながら、半世紀以上におよぶ富野監督の仕事をご紹介します。

期間 11月7日(日)まで

会場 新潟市新津美術館

催事名2 第15回秋葉区美術展覧会

秋葉区に在住、勤務する市民による総合的な美術の展覧会

期間 11月20日(土)～11月28日(日)

会場 新潟市新津美術館

(15) 新潟県立近代美術館 (長岡市千秋3丁目278-14)

お問合せ 電話0258-28-4111

催事名1 【企画展】高畑勲 (たかはたいさお) 展 日本のアニメーションに遺したもの

高畑勲(1935-2018)は、1960年代から半世紀にわたって日本のアニメーションを牽引し続けたアニメーション映画監督です。本展では、高畑の演出術に注目し、制作ノートや絵コンテなどの未公開資料も紹介しながら、その豊穡な作品世界の秘密に迫ります。

期間 11月14日(日)まで

会場 企画展示室

催事名2 コレクション展 第3期

〔展示室1・2〕「“ものがたり”をめぐって」

伝説や神話、物語を描いた作品、その背景に物語のある作品、そして物語を思わせる作品など、当館の所蔵品から物語に関わる作品を選びご紹介します。

〔展示室3〕「田畑あきら子 火だるまのなかの白い道」

西蒲原郡巻町（現在の新潟市）に生まれ天逝した田畑あきら子。昨年はその没後50年の年でした。当館所蔵の作品をまとめて展示し、画業を振り返ります。

期間 12月12日（日）まで

会場 コレクション展示室

◆ 編集後記 ～2020オリンピック・パラリンピックを振り返って～

今まで経験したことが無いコロナ禍の中で、東京2020オリンピック・パラリンピックは1年遅れで開催され、全日程を終了しました。

その中でもパラリンピックでは、新潟県関係者の活躍が目に残りました。開会式で三条市出身の佐藤ひらりさんが登場した瞬間は驚きましたが、君が代を伸びやかな声で堂々と歌っている姿が印象的でした。競技では競泳背泳ぎ・S2で、阿賀野市出身の山田美幸選手が2つの銀メダル、陸上マラソン・T46で永田務選手が銅メダル獲得。山田選手は当センターがある新潟ふれ愛プラザのプールに通い練習されていた選手。永田選手は1階の県身体障害者団体連合会の職員さんです。身近な人たちの活躍はとても嬉しく、ただただ凄いなと感動しました。大会終了後、永田選手は銅メダル獲得のご挨拶に当センターへ来てくださいました。その際、ご本人のご厚意で、銅メダルに触れさせていただく事ができました。とても重く、よく見るとTOKYO2020と点字が付いていたのに気づきました。その時の様子は、当センターのTwitterにアップしてあります。

今までに前例の無い中での大会でしたが、たまたまテレビで見ることができたオリンピックの女子バスケットボール、またパラリンピックの車椅子バスケットボールは終盤、熱を入れて見入ってしまいました。スポーツで競い合い、選手の頑張っている姿からは、言葉では言い表せない勇気や感動をもらえる場面がありました。本来、このようなパンデミック化でなければ、有観客で開催さ

れた大会です。生で観戦したら感じるものが、遥かに大きいだろうと想像しました。

コロナの収束がいつになるか見通せない中でも、このようにスポーツで喜びや感動、楽しさを感じる事ができます。きっと身の回りの生活で、自分の興味がある事に出会えれば楽しく過ごせるはず、と感じました。秋は過ごしやすい季節です。何かまた1つ、楽しみを見つけて過ごしていきたいと思います。

(狩野)

次号153号は、
2021年12月14日発行予定です♪



メールにいがた（新潟県視覚障害者情報センターだより）

（第152号 2021年10月）

発行：社会福祉法人 新潟県視覚障害者福祉協会

にいがたアイサポートセンター

新潟県視覚障害者情報センター

〒950-0121

新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内

TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115

メール tosyo@ngt-shikaku.jp

ホームページ <http://ngt-shikaku.jp/>

郵便振替：00510-5-93600

日常生活支援機器情報コーナー (no.56)

「iPhone用キーボード QwertyCase (クワータケース)」

2021年9月に、iPhone用フルキーボード「QwertyCase」が発売になりました。この機器は、韓国の会社が視覚障害者向けに開発したiPhone用キーボードです。日本ではラビットが輸入元になっています。iPhoneの背中側に磁石でキーボードを取り付けます。iPhoneの画面は使用者側に向き、キーボードは画面の向こう側になります。iPhoneとキーボードが磁石で取り付けられているので、立ったままでもフルキー入力ができます。キーボードは普通左から「ASDFG」と並んでいますが、このキーボードは下側から「ASDFG」と並んでいます。キーは左手に15個、右手に15個の合計30個。アルファベット26文字の他に、enterキー、言語切り替えキー、記号切り替えキー編集キーがあります。

その他に上の面に6個のボタンと2つのスイッチがあります。右から、シフト、スペース、コマンド、ボイスオーバー、スペース、デリートの6個です。中央にキーボード・電話切り替えスイッチと、電源スイッチがあります。大きさは、横15センチ、縦8センチ、重さが約100グラムです。USBのCタイプで充電を行い、充電時間は60分、使用時間は40時間となっています。

Rivo2は、数字ボタンを押して文字の入力を行いましたが、このキーボードは、フルキーのローマ字入力で文字を入力します。そのため、パソコンなどでキーボードが入力できる人が使用します。点字入力はできません。

iPhoneの様々な操作アプリの選択や画面のスクロールなどは、iPhoneの画面を触って操作するのが便利です。QwertyCaseで行う場合には、パソコンのショートカットキーを覚えて操作するようなイメージとなります。そのため、ご自身がよく使うキーのみ覚えておくのが便利です。このように説明しても実際に物を触らないとどのようなキーボードか想像が付きません。iPhoneでもっと早く文字入力をしたい人には順番で機器の貸し出しも行っていきますので、是非お問い合わせ下さい。

株式会社ラビット代表取締役 荒川 明宏

【記事掲載ご協力及び製品のお問合せ先】

株式会社ラビット 〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-29-7 スカイパレス401

電話 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645

メール eigy@rabbit-tokyo.co.jp